

序

社会医療法人財団白十字会 理事長 富永 雅也



社会医療法人財団白十字会は、1929年、初代理事長富永猪佐雄が佐世保市宮崎町に診療所を開いて以来、長崎大学、福岡大学、佐賀大学や医師会の先生方を始め、関係各位のご指導とご援助をいただきながら、昭和・平成と80数年間を歩んでまいりました。

さて、2017年度を振り返りますと、国内においては九州北部豪雨が発生し、福岡県朝倉市や大分県日田市等を中心に甚大な被害をもたらしました。被災者には当法人職員のご家族も含まれており、法人として速やかに支援を行いました。また、都民ファーストを謳う小池百合子新都知事が誕生する新たな風が吹き、青天の霹靂とも思える衆議院解散もあり、不安定な政治が印象に残りました。

海外に目を向けますと、アメリカのニューリーダー・トランプ大統領の過激な発言、そしてそれに反発・呼応するかのような北朝鮮の中距離弾道ミサイル発射と日本の安全を脅かす出来事が相次ぎ、不安な気持ちを抱く1年となりました。それらを象徴するように、日本漢字能力検定協会が公募・発表した2017年を表す漢字一文字の上位3つは「北」「政」「不」となりました。

しかし、年度末である2018年2月に平昌五輪が開催されると、全国民を明るくするニュースが相次ぎました。フィギュアスケート羽生結弦選手の怪我を乗り越えての圧巻の2連覇、スピードスケート女子500メートル小平奈緒選手の金メダル獲得と敗れた韓国選手に対しての抱擁、女子団体パシュート高木奈那、高木美帆、佐藤綾乃、菊池彩花選手の金メダル獲得など、多くの感動的な場面が大会中に届けられました。

そんな中、国民の心を一番つかんだのは、大会の最初から最終盤まで激闘を繰り広げ、最後銅メダルを獲得した女子カーリングチームではないでしょうか。彼女たちが話す独特の方言（北海道弁）がマイクを通じて放送され、ハーフタイムの場面も愛称を付けて呼ばれたことから、今回初めてカーリングを見た方々を、瞬く間に引きつけていったのではないかと思います。

このチームには、試合中の会話の内容にも注目すべき点がありました。報道では特定の言葉がよく取り上げられましたが、選手同士のやり取りをよく聞くと、決して相手を否定する表現を使っていませんでした。相手の提案を受け入れ、自分の意見と合わせてより良い作戦を練り上げていき、最高の結果を出していたのです。選手の会話がすべて聞こえるという、スポーツ中継ではこれまでにない状況で、私たちが気持ちよく彼女たちを応援し続けることができたのも、それが理由なのかもしれません。

さて、医療・介護の世界では国が主導する「働き方改革」の波が押し寄せました。これまでは、いわゆる「聖域」とされてきた医療・介護従事者の働き方にもメスが入ろうとしています。これは今までにない改革であり、今後どのように考えていくべきか誰もが不安を感じています。

また、2025年問題解決のために地域医療構想や2025プラン等、都道府県レベルでの具体的検討が開始されました。医療・介護の更なる連携・切れ目ないマネジメントが求められています。

白十字会においては、急性期医療・回復期医療・在宅医療・介護サービスの全てを提供しています。法人内の連携なくして、地域へのサービス提供の充実は図れません。法人内の全職員がお互いのことを尊重し、1つのチームとして連携しあうことで最高の結果を出すことができると確信しております。

このたび、礎病院長のリーダーシップのもと関係各位の尽力により佐世保中央病院の2017年度病院年報が完成いたしました。ぜひお手に取って、最高のチームの中身を知って頂ければと思います。

いつも佐世保中央病院に賜りますご厚情に深く感謝、お礼を申し上げ、関係各位の今度共のご指導とご援助をお願い申し上げます。序文といたします。

Annual Report 2017

発刊にあたって

佐世保中央病院長 碓 秀樹



Annual Report 2017〔病院年報〕の発刊にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

日頃、佐世保中央病院の運営に関しまして、多大なるご協力をいただきまして心から感謝申し上げます。さて2017年度は、九州北部豪雨災害、国内の政治不信、米大統領・北朝鮮の暴挙など連日国内外の暗く重いニュースが多い中、明るい話題もありました。14歳最年少藤井棋士の29連勝、陸上100メートル日本人初の9秒台の桐生選手、平昌冬季五輪での羽生選手はじめ日本人選手の活躍など、多くの感動を覚えた一年でもありました。

当院は4月に46名（うち医師13名）の新入職員を迎えましたが、皆一年間でしっかり成長し、各部署で責任をもって仕事に当たってくれています。

中央病院フォーラムでは、各種専門疾患の最先端の講演の他に、2017年度は二つの講演会を開催いたしました。一つは北海道医療大学名誉教授の石垣靖子先生に、「人間尊重の医療の定着を目指して」というテーマで、どうしても病気中心または病院側中心の医療・看護に偏りがちな今日、一人の人間としての患者さんと正しい倫理観を持って向き合うことの大切さを改めて考えさせられました。もう一つは、長く中央病院で外科医として勤務されてこられた、菅村洋治先生に「海外医療支援に携わって」というテーマで、中央病院定年退職後に「国境なき医師団」「災害人道医療支援会」に所属し、世界各地の厳しい環境の中で医療支援に携わってこられた先生の、今なお情熱ある講演に胸が熱くなりました。

病院統計として、病床稼働率（動態）85.1%、新規入院患者数6,685人は昨年より微増、手術件数1,689は昨年より117件増加。これは2016年7月から常勤体制となった眼科手術、心臓血管外科の開心術やステント治療、脳血管障害に対する脳血管内治療の増加などによるものでした。平均在院日数14.5日、紹介率88.5%は昨年とほぼ同様、逆紹介率138.1%は年々上昇傾向にあり、地域の先生方に多くの患者さまを受け入れていただき心から感謝申し上げます。救急外来患者数5,788人（うち救急車搬送数2,458台）は、いずれも前年度より少し減少しています。2018年度はさらにお断りを減らしていきたいと考えています。

地域医療構想の中、当院では2018年8月より、1病棟（45床）を急性期から回復期（地域包括ケア病棟）に転換し、在宅からのサブアキュートの患者さまのスムーズな受け入れを目指したいと考えています。

2018年度も、地域における当院の五つの役割（救急医療、がん治療、専門医療、在宅医療連携、予防医学）をしっかり認識し、今後も連携強化を最重要課題と位置づけ、全職員一丸となり、さらに質の高いそして安心とやさしい医療と看護を提供できるように努力していきたいと考えています。

今後とも皆様のご指導とご支援を賜りますようどうぞよろしくお願いいたします。

CONTENTS

序

刊行にあたって

1 病院概要

沿革	6
理念・方針	11
基本情報	14
病院の取り組み	18
地域医療支援病院	19
臨床研修指定病院	22
脳卒中センター	23
認知症疾患医療センター	23
長崎県指定がん診療連携推進病院	24
日本医療機能評価機構認定施設	24
メディカル・ネット99	25
PREMISs	26
ISO15189	27
社会貢献(CSR)活動	28
病院機能評価 受審	29
ユマニチュート®(認知症への取り組み)	30
学会認定施設	31
施設基準	32
電子カルテ(HOMES)紹介	34
ボランティア活動	34
白十字会Institute	35

病院統計

診療実績	38
紹介率・逆紹介率	39
月別外来延患者数(1日平均)	39
月別入院延患者数(1日平均)	40
病床(動態)稼働率	40
平均在院日数	41
1日平均在院患者数(静態)	41
新規入院患者数(全体)	41

救急統計

救急外来受診者数と救急車搬入数	42
救急外来受診者の年齢分布	42
救急外来の診療科別内訳	43
救急車搬入時の診療科別内訳	43

診療情報統計

疾病大分類	44
疾病大分類(推移)	44
悪性新生物	45
悪性新生物上位15部位(推移)	45
退院患者(上位30疾患)	46
死亡退院患者率	47

臨床評価指標

褥瘡有病率・褥瘡推定発生率	48
入院患者の転倒・転落発生率	49
入院患者の転倒・転落による損傷発生率(レベル3以上)	49
輸血製剤廃棄率	50
術中・術後の大量輸血患者の割合	51
糖尿病の患者さんの血糖コントロールとHbA1c(HbA1c<7.0%の割合)	52
感謝状	53

満足度調査

2 診療部

外来診療担当表	64
呼吸器内科	66
腎臓内科	68
脳神経内科	70
リウマチ・膠原病センター	72
糖尿病センター	75
消化器内視鏡センター	77
人工透析センター	79
循環器内科	81
外科	83
整形外科	86
脳神経外科・脳血管内科	88

心臓血管外科	91
皮膚科	93
小児科	95
泌尿器科	97
眼科	99
耳鼻咽喉科	101
放射線科	102
麻酔科	104
病理部	105
認知症疾患医療センター	107
歯科	112
健康増進センター	113
研修医の紹介	115
学会賞等受賞記念学術講演会	116
学会発表実績	117

3 各部

看護部	138
薬剤部	144
放射線技術部	146
臨床検査技術部	148
臨床工学部	150
リハビリテーション部	152
栄養管理部	154
感染制御部	156
医療安全管理部	158
臨床研究管理部(治験管理室)	160
事務部	
医療事務課	162
診療情報管理課	162
医局秘書課	164
資材課	165
施設課	166
システム開発室	167
総務室・財務室・人事管理室・広報室	168

地域医療連携センター	169
入退院支援センター	172
健康管理部(健康増進センター)	174

4 委員会

委員会組織図	176
活動報告	
病院機能向上推進室会議	177
院内感染対策委員会	177
医療廃棄物処理委員会	178
労働安全衛生委員会	178
病床運営委員会	179
省エネルギー推進委員会	179
広報委員会	180
提案委員会	181

5 巻末資料

院内行事	184
新規医療機器紹介	185
患者会・家族会活動実績	186
資格取得奨励支援制度	190
提案制度	190
新聞記事などの紹介	191
学会発表実績	192